

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果の概要と今後の方策

今年度4月19日(火)に6年生を対象として実施された「全国学力学習状況調査」の結果と分析、今後の指導の方策についてお知らせします。内海小学校の今後の教育活動に役立てていきたいと思っております。ご家庭でもお子さんへの声かけの参考としていただければ幸いです。

☆学力調査の分析と指導改善のポイント

国語

- 漢字の読みについては、ほとんどの児童がよくできていました。また、目的に応じて資料を関連づけたり、読み比べたりする「読むこと」の領域についてはよくできていました。国語の勉強が好きな児童や読書が好きな児童が多く見られました。
- 学校や地域の図書館の利用率は非常に高く、読書好きな児童が多い傾向にあります。今後も読書によってさまざまな知識を身に付けてほしいと思います。
- 資料を基にして自分の考えを書くことに対して少し苦手意識をもっているようです。
⇒書く活動については、これまでも国語の授業だけでなく自主学習や日記の活動において書く機会を設定しています。今後も継続して書く活動を指導の中に取り入れ、書く習慣を身に付けることができるようにしていきます。

算数

- 数量の計算については、全体的によくできていました。また、平面図形や立体について、辺や面などの位置関係の理解はよくできていました。
- 算数Bの主に活用する内容の出題は、示された状況を理解して、必要な説明や理由を記述することがよくできていました。
- 数の大小関係や単位量当たりの計算については、勘違いをしまったり、無回答だったりした児童が見られました。また、算数Bの主に活用する内容の出題では、記述がよくできていた反面、間違いについては無回答の児童が多く見られました。
⇒分からない問題に対しては、あきらめてしまい無回答にしてしまう傾向があるため、今後は授業の中で、自分の考えに自信をもって書く指導をしていきます。

○・・・よくできていた点 ●・・・課題のある点

☆生活習慣や学習環境に関する調査の分析と改善のポイント

- 生活習慣の中の「朝食を毎日食べていますか。」という質問については、9割以上の児童が食べていると答えています。朝食をしっかり食べることは、授業への集中力を高めるとともに、学習意欲にもつながりますので、今後も継続をお願いします。
- 失敗を恐れない気持ちや自分のよさを感じる子は多く、児童の自尊感情は高い結果が見られます。また、自分の意見や考えを発表することについて、得意・どちらかと言えば得意と答えた児童が全体の7割を越えており、本校の算数科で実践している話し合い重視の活動の成果が出てきていると思います。
- 寝る時間が少し遅いことや寝る時間が習慣化せずに不規則になっている傾向があります。ゲームをする時間は多くありませんが、携帯電話やスマートフォンでの通話やメール、インターネットの利用時間が長いという結果が出ています。
⇒毎日の就寝時間を一定にすることは、十分な睡眠時間の確保にもつながります。早寝早起きを習慣化できるようにご家庭のご協力をお願いします。

○・・・継続していきたい点 ●・・・課題のある点